

資料2-1-2

再配布

福島県民の意見を聴く会について

福島県民の意見を聴く会のシナリオ別支持率集計

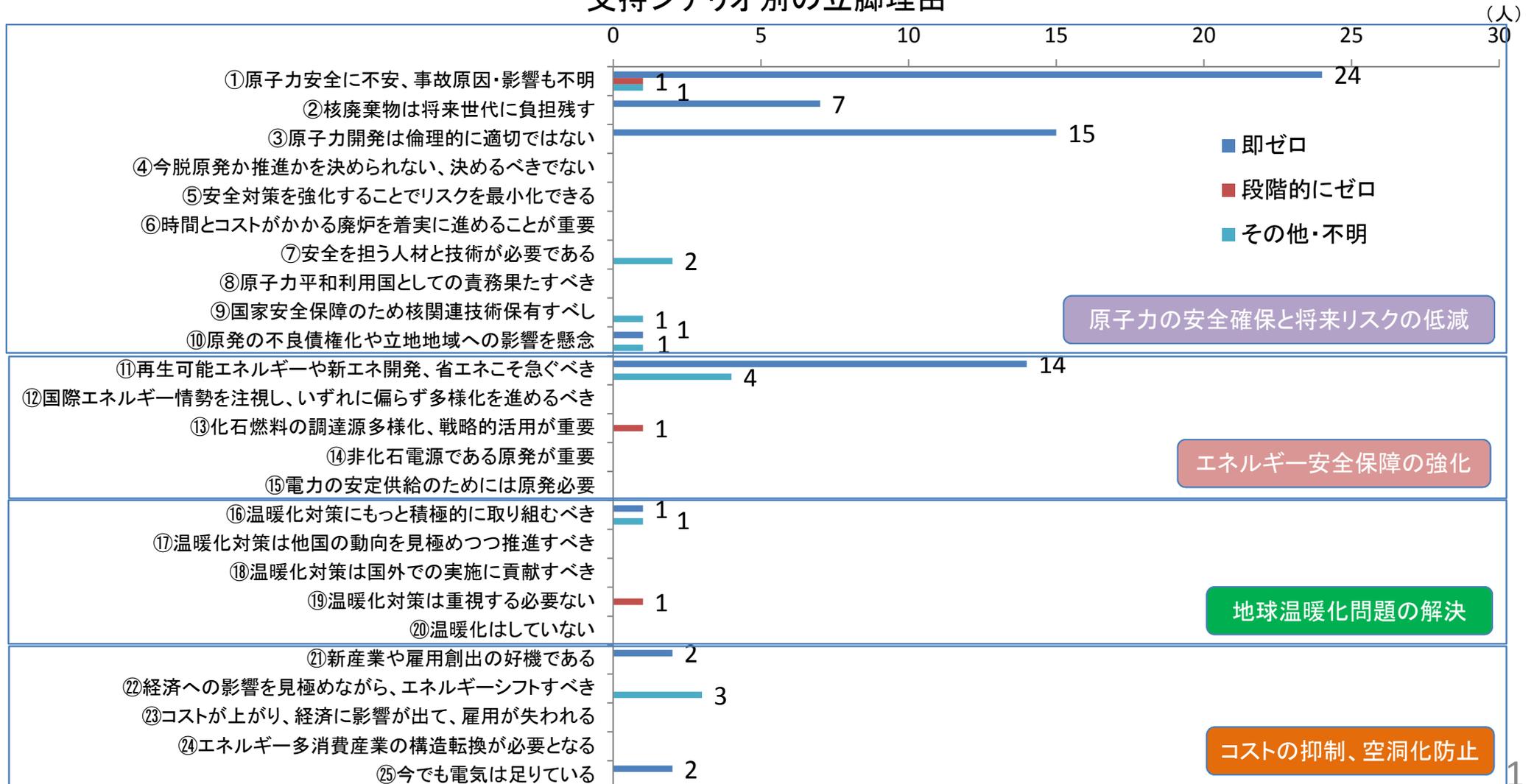
※事務局の整理分類による

	即ゼロ	段階的にゼロ	15シナリオ	20~25シナリオ	その他・不明	(単位:%)
会場アンケート	53(90)	6(10)	0	0	41	

※()内は「その他・不明」の人を除いた場合の比率。

※福島県民の意見を聴く会では、意見表明者はシナリオごとの募集としていない。

支持シナリオ別の立脚理由



「福島県民の意見を聴く会」における声

※ 福島での意見表明者の意見表明の内容から、特に「福島県民の意見を聴く会」にて特徴的に聞かれた内容について、事務局の文責でまとめたもの。

- 昨年12月の原発事故の収束宣言から、大飯再稼働、規制庁人事、原発直下の活断層への対応など、一連の政府の決定に対し、福島県民として侮辱された想い。
- 子どもに対する放射線の健康被害、影響に対し大きな懸念を持っている。
- 福島でこんな事故は最後にしてほしい。取り返しのつかない事態。福島事故を受けて、せめて原発ゼロを決めることが責任の取り方。子どもたちの健康、安全のため、政府が応えてほしい。
- 原発ゼロと決め、そのためのハードルを越えていくべき。自然エネルギーの力を生かす。
- 震災後一步も進んでいない。シナリオの議論よりも前に、事故を収束し、その原因を突き止め、その解決から始めるべき。核のゴミの解決から始めるべき。
- 被ばく労働者の問題など、原発の負の側面をトータルで見るべき。原発は安くはない。
- 福島の想いと、福島の外の方とのギャップを埋めてほしい。福島の現実がわかれば、福島県外の方の意見も変わるのではないか。
- 40年前の選択(福島原発の設置)の結果が今回の事故。子どもたちのため、未来のための選択を。
- 国も電力会社も専門家も福島県民と同じ状況で考えてほしい。即時に原発ゼロにしてほしい。
- なぜ原発なのかを、国には本音で語ってほしい。